

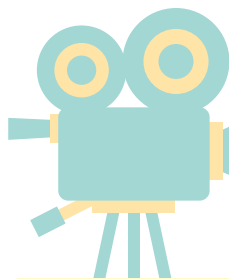
世界へ届けよう!
1分間の映像メッセージ





2002年より、The European Cultural Foundation, The One Minutes Foundation, ユニセフ(国連児童基金)の協力でスタートしました、One Minute Video(以下「OMV」)コンテストが今年9月10日(土)に開催されました。

テーマに沿った1分間の映像作品が審査されるこのコンテストは、2020年から大学生事務局として本学の学生が広報や運営を務めています。昨年は、初めてオンライン開催となり、フルリモートで運営を行いました。今年は、生中継にも挑戦しつつ、コンテストを盛り上げるべく奮闘する駿大生の様子をお伝えします。



今年のテーマ

「今、あなたが伝えたいこと」

私たちの身の回りで起こっている出来事、社会現象などは、私たち自身の生活や感情へ何かしらの影響を与えています。今回は、各々の心に芽生えている感情や願いを、“映像言語”として1分間に表現することが求められます。

大学生事務局の活動とは？

審査作品の動画をウェブ配信することが最終的なゴールなので、本番に向けて、リハーサルを念入りに行います。また、応募作品を集める大きな役割もあるので、応募数を増やすために中学校や高校へ出向きワークショップを実施しています。昨年は150作品ほどの作品が集まり、映像審査員の方々と20作品に絞った上で、コンテスト当日受賞作品を決定していきました。

メンバーは？

4月のオリエンテーションキャンプ内の告知や教員や先輩、友人からの勧誘をきっかけに集まったメンバーです。今年は、1年生6名、2年生3名、3年生5名、計14名で活動しています。大きく分けてコンテスト宣伝チーム、準備チーム、本番チームの3部門で活動しています。4年生にも一部サポートとして協力してもらっています。



1分間の映像(画像と音)という言葉とは異なる映像言語を通して自分たちのメッセージを世界に向けて発信し、自己表現力を養い、言葉の壁を越えて興味や意見、夢や希望を分かち合う活動です。

One Minute Video とは？



大学生事務局の各チームリーダーにインタビュー

大学生事務局代表

メディア情報学部3年

磯部 朋花さん
(目白研心高校出身)



自分の役割で気を付けていることは？

基本的には、みんなに仕事を割り振ることでありますが、大学生事務局のみんなが「やってよかった」と思ってもらえることです。自分自身も昨年、忙しい反面、やってよかったと思う経験がたくさんありました。今回メンバーに入ってくれた後輩にも同じような経験をしてもらいたいと思っています。

なぜ駿大へ？

元々テレビ業界やエンターテインメントに興味があったのでメディア系を学べる進学先を探していました。高校生の時に参加したオープンキャンパスで斎賀教授の模擬授業(映像制作)が面白かったので、斎賀ゼミに入りたいと思うようになりました。これまで約2年半の大学生活を送ってきましたがすでに、高校の時に自分がやりたいと思っていた、企画・撮影・演者・監督・演出・編集を一通り経験でき、1本の映画を制作するような感覚も体験できていてとても充実しています。ゼミの仲間も自分と同じように映像制作に志を高く持ったメンバーなので、制作過程もすごく楽しいです。

高校生の自分と比べて変わったなと思うことは？

自分から、やりたいことをやりたいと言えるようになりました。高校2年生の時に、ニュージーランドに留学して、やってみないと分からないし、意外にやってみたら何とかなるという経験をして、大学では、やってみようと思ったことは、進んでやるようにしています。

3年前のコロナ禍に入学しましたが、授業体系がオンライン中心の時は、課題で忙しいと思うことはあっても、“あれができない、これができない”ということはなく、このOMVの経験も含め、やってみようことにチャレンジしています。現在併行して、来春予定している語学留学に向けて準備も進めています。

コンテスト宣伝チームリーダー

メディア情報学部3年

細野 珠瑠さん
(埼玉県立鶴ヶ島清風高校出身)



主な業務

ポスター制作などの広報

自分の役割で気を付けていることは何ですか？

今回初めてOMVのポスターを制作しました。今まで大学の授業で学んだこと、井上ゼミで習得したグラフィックデザインのスキルを最大限に活かして、見やすさはもちろん、コンセプトからしっかり考えてメッセージ性のあるポスターを作成しました。また、今年この活動も2年目になるので、後輩の疑問や不安を解消してあげられるように意識しています。

駿大(メディア情報学部)を選んだ理由は何ですか？

自分の好きな写真やカメラを専門的に学んでいきたいと考えていました。専門学校や就職という選択肢もありましたが、自分の好きな分野を学ぶだけでなく、教養も身に付け、多くの人と関わり人脈を広げたいという思いから大学進学を決めました。オープンキャンパスで斎賀先生の模擬授業に参加して、こんな面白い授業を提供してくれる先生がいること、設備の整ったきれいな環境があることにとても魅力的に感じ、迷わず駿河台大学に進学を決めました。

高校生の自分と比べて変わったなと思うことはありますか？

高校までは、自分に向いてないと決めつけて行動に移せないことが多くありましたが、大学では、誘われたことは断らずに挑戦しようと決めて、このOMVや赤十字のボランティアに取り組んでいます。チャレンジする先々で新しい人と出会い、同じ目標に向かって様々なことに取り組んでいく中で、人見知りの癖がなくなり、今では人と話すことも好きになりました。どうしたらイベントに参加してもらえるか、参加してくれた方にどうしたらより喜んでもらえるかななどの意見を出し合っって企画立案する仕事も楽しみながら取り組んでいます。

準備チームリーダー

メディア情報学部3年

菅野 明日香さん
(福島県立福島南高校出身)



主な業務

審査員のインタビュー記事作成
動画制作

自分の役割で気を付けていることは？

審査中の間に流す映像を制作しています。今回は“OMV10年間の歴史”をテーマにこれまでのOMVに審査員などとして関わってくださった方々のインタビュー映像をまとめています。インタビュー撮影中以外の場面でも話し手がトークをしやすく、意識的に会話をするように心掛けていました。しかし、初対面の目上の方から話を引き出すのは、すごく難しかったです。取材論という授業があるので、この経験を活かしつつその授業でさらに磨きをかけていきたいです。

なぜ駿大へ？

吹奏楽部に所属していたこともあり、音響に興味がありました。また、友達の誕生日にスマホで動画をつくってあげるのが好きだったので、音響と映像制作どちらも本格的に学べるメディア情報学部を魅力に感じて駿河台大学に入学を決めました。

高校生の自分と比べて変わったなと思うことは？

より積極的に自分からチャレンジしているので、選択肢が広がっている感覚があります。

高校時代は大学進学のための勉強や部活動をひたすら頑張ってきましたが、大学では、いろんな地域・地方から学生が集まっていることでたくさん刺激を受けて積極的になってきました。学内では、様々なジャンルにチャレンジする機会もあり、このOMVにも自分から挑戦すると決めました。卒業までに、課題やゼミに関係なく、自主的に動画制作を完成させたいと思っています。

本番チームリーダー

メディア情報学部3年

石井 香乃さん
(高崎健康福祉大学高崎高校出身)



主な業務

コンテストディレクター

自分の役割で気を付けていることは？

ディレクターとして、本番は全体のリーダー的な役割を担います。具体的には、現場の事務局スタッフへの指示出しや審査員や受賞者の方に対して進行説明を行います。

みんなを引っ張っていく立場なので、“この人についていかなら安心だ”と思ってもらえるよう、一人一人と積極的に話かけ、周囲に信頼してもらえるようにコミュニケーションをとることを心掛けています。

また、来年再来年と次につなげていくことを意識して、後輩に対して、私ができることは伝えていきたいと思っています。昨年は、メンバーの都合で急遽ADからディレクターに役職が変わり、自分1人でチームを引っ張っていかなければいけなくなりましたが、その反面、自分の思うように進められ、楽しむことができました。今年は、自分の経験よりもADとして付いてくれている後輩2人をフォローすることも意識して進めていきたいです。

OMVのやるきっかけ

大学1年次はコロナ禍で何も経験できなかったという印象だったので、2年次からできることは何でもしていこうと考えていました。そんな時、ゼミ教員の間島先生にOMVの運営スタッフに声をかけていただきました。元々人と関わるのが好きなので、先輩や後輩、審査員を務める他大学の先生や学生の方と意見を交わすことができやがいを感じています。また、目上の方とメールなどでコンタクトを取ることが多く、社会に出ていく上で必要なスキルが蓄積している感覚もあり、自信が付いてきました。OMVだけでもいろんな経験が詰まっていて成長を感じる瞬間が楽しいです。

なぜ駿大へ？

中学の頃から、映画やミュージックビデオ、ドラマなどに興味があり、映像系の仕事ができたらいいなと思っていました。高校の先生に相談した時は、厳しい世界だよと言われて心が折れそうになったこともありましたが、ずっと思い描いていた夢だったので、その道に進みたいと思い続けてメディア情報学部のある駿河台大学に入学しました。入学後は、自分の好きな映像制作を通して人と関わっていくことも魅力に感じています。自分と同じように映像に対して目標を持った人たちが集まるので、今は先輩からたくさん吸収して、卒業前には自分自身の力で映像作品を制作したいと考えています。

「特待生」「学業成績優秀奨学生」「学部長賞」が 決まりました

特待生 ・ 学業成績優秀奨学生

1級・2級特待生(4年生)、学業成績優秀奨学生(2・3年生)は、学業成績及び人物が特に優れている学生、スポーツ年間特待生は、前年度のスポーツ競技成績及び人物が特に優れている学生に対し奨学金を給付する制度です。認定された皆さん、おめでとうございます。さらなる飛躍を期待しています。

学部	学年	氏名	種別	出身校名	学年	氏名	種別	出身校名
法学部	4年	大平 凛	1級	新潟県立小出高校	3年	満畑 政輝	学業成績 優秀奨学生	埼玉県立滑川総合高校
	4年	前田 苑美	2級	埼玉県立寄居城北高校	2年	伊東 秀高	学業成績 最優秀奨学生	東京都立青梅総合高校
	3年	北村 沙莉華	学業成績 優秀奨学生	屋久島おおぞら高校	2年	松永 妃華	学業成績 優秀奨学生	静岡英和女学院高校
	3年	吉川 菜	学業成績 優秀奨学生	埼玉県立豊岡高校	2年	石井 滉太	学業成績 優秀奨学生	福島県立修明高校
	3年	重田 百々果	学業成績 優秀奨学生	高崎市立高崎経済大学附属高校	2年	久保田 大樹	学業成績 優秀奨学生	東京都立福生高校
	3年	武部 裕樹	学業成績 優秀奨学生	—	2年	齋藤 涼花	学業成績 優秀奨学生	東海大学菅生高校
	3年	西川 愛理	学業成績 優秀奨学生	村田女子高校(現:広尾学園小石川高校)	2年	長岡 理々子	学業成績 優秀奨学生	山形県立霞城学園高校
	3年	保坂 祐希	学業成績 優秀奨学生	東京都立秋留台高校	2年	星野 里歩	学業成績 優秀奨学生	新潟県立長岡大手高校
経済経営学部	4年	水谷 明日美	1級	東京都立清瀬高校	3年	村島 花奈	学業成績 優秀奨学生	埼玉県立狭山経済高校
	4年	須田 竜生	2級	秋田県立横手清陵学院高校	2年	川島 樹弥	学業成績 最優秀奨学生	群馬県立館林高校
	3年	相子 夏輝	学業成績 最優秀奨学生	埼玉県立飯能高校	2年	青木 葉瑚	学業成績 優秀奨学生	埼玉県立所沢中央高校
	3年	網 匠未	学業成績 優秀奨学生	栃木県立黒磯高校	2年	川島 若奈	学業成績 優秀奨学生	NHK学園高校
	3年	内山 颯太	学業成績 優秀奨学生	長野県長野南高校	2年	黒岩 葉琉	学業成績 優秀奨学生	群馬県立嬬恋高校
	3年	高橋 拓真	学業成績 優秀奨学生	東京都立東大和高校	2年	関根 さゆり	学業成績 優秀奨学生	埼玉県立秩父農工科学高校
	3年	高橋 飛翔	学業成績 優秀奨学生	埼玉県立豊岡高校	2年	ZHAO YUAN	学業成績 優秀奨学生	外国の学校等
	3年	根津 空斗	学業成績 優秀奨学生	NHK学園高校	2年	渡辺 諒哉	学業成績 優秀奨学生	埼玉県立所沢西高校
メディア情報学部	4年	生井 千晴	1級	埼玉県立久喜高校	3年	松崎 穂乃香	学業成績 優秀奨学生	東京都立江北高校
	4年	金田 大河	2級	茨城県立取手第二高校	2年	小野寺 梢	学業成績 最優秀奨学生	福島県立磐城高校
	3年	坂本 美優	学業成績 最優秀奨学生	東京都立千早高校	2年	岡本 淳雅	学業成績 優秀奨学生	富山県立石動高校
	3年	青木 悠乃	学業成績 優秀奨学生	栃木県立足利清風高校	2年	佐野 直子	学業成績 優秀奨学生	屋久島おおぞら高校
	3年	小山 香帆	学業成績 優秀奨学生	高崎市立高崎経済大学附属高校	2年	清水 夏月	学業成績 優秀奨学生	東京都立第五商業高校
	3年	坂本 瑞樹	学業成績 優秀奨学生	埼玉県立入間向陽高校	2年	鈴木 宇翔	学業成績 優秀奨学生	本庄東高校
	3年	鶴田 涼也	学業成績 優秀奨学生	埼玉県立川越総合高校	2年	古谷 香祐	学業成績 優秀奨学生	自由の森学園高校
	3年	細谷 翔吾	学業成績 優秀奨学生	神奈川県立足柄高校	2年	星野 萌優	学業成績 優秀奨学生	群馬県立伊勢崎高校
現代文化学部 スポーツ科学部	4年	菅野 宙斗	1級	豊南高校	3年	河野 祥大	学業成績 優秀奨学生	明法高校
	4年	前澤 明日香	2級	埼玉県立朝霞西高校	3年	沼田 悠武	学業成績 優秀奨学生	長野県小諸高校
	3年	片桐 悠介	学業成績 最優秀奨学生	埼玉県立春日部東高校	3年	平澤 絵美	学業成績 優秀奨学生	東京農業大学第二高校
	3年	石森 楓麻	学業成績 優秀奨学生	埼玉県立ふじみ野高校	3年	茂呂 碧斗	学業成績 優秀奨学生	茨城県立古河中等教育学校
	3年	糸井 捷	学業成績 優秀奨学生	東京都立福生高校	2年	佐藤 天晟	学業成績 最優秀奨学生	昭和第一学園高校



1級特待生受賞コメント

心理学部4年 廣瀬 良菜

今回、特待生に認定していただき、非常に嬉しく光栄に思っています。

普通の授業には、メモを取りながら積極的に参加し、授業後に考えをまとめたり、疑問に思ったことを調べたりするよう心掛けています。学んだことは、必ず何かの役に立つと考えているので、今後も自分のために様々なことを学んでいきたいと思っています。



スポーツ科学部 現代文化学部	2年	大澤 伊織	学業成績 優秀獎学生	埼玉県立本庄高校	2年	高橋 咲多	学業成績 優秀獎学生	東京都立田無高校
	2年	栢本 尚輝	学業成績 優秀獎学生	武南高校	2年	服部 駿樹	学業成績 優秀獎学生	埼玉県立所沢西高校
	2年	腰塚 真菜	学業成績 優秀獎学生	群馬県立桐生女子高校 (現：群馬県立桐生高校)	2年	藤田 涼樺	学業成績 優秀獎学生	聖霊女子短期大学付属高校
心理学部	4年	廣瀬 良菜	1級	埼玉県立秩父高校	3年	吉川 彩	学業成績 優秀獎学生	埼玉県立所沢商業高校
	4年	鈴木 風花	2級	東京都立石神井高校	2年	原口 真利亜	学業成績 最優秀獎学生	埼玉県立秩父農工科学高校
	3年	佐々木 聖羅	学業成績 最優秀獎学生	岩手女子高校	2年	上野 静剛	学業成績 優秀獎学生	東京都立科学技術高校
	3年	北上 怜奈	学業成績 優秀獎学生	北海道伊達緑丘高校	2年	岡本 真奈	学業成績 優秀獎学生	福島県立いわき光洋高校
	3年	小川 楓花	学業成績 優秀獎学生	秋光塩学院高校	2年	篠崎 芽衣	学業成績 優秀獎学生	神奈川県立横浜平沼高校
	3年	坂本 新奈	学業成績 優秀獎学生	埼玉県立豊岡高校	2年	高野 彩生	学業成績 優秀獎学生	茨城県立日立北高校
	3年	椎野 星菜	学業成績 優秀獎学生	さいたま市立浦和南高校	2年	堀籠 優月	学業成績 優秀獎学生	東海大学山形高校
	3年	花島 瑞生	学業成績 優秀獎学生	広尾学園高校	2年	増岡 彩乃	学業成績 優秀獎学生	埼玉県立所沢中央高校

学部長賞

学業において優秀な成績を挙げた学生、または部活動やボランティア活動などの課外活動において顕著な活動を行った以下の学生が表彰されました。

学部	学年	氏名	出身校名	学年	氏名	出身校名
法学部	4年	清野 太成	埼玉県立飯能南高校	3年	齋藤 大夢	群馬県立前橋南高校
	4年	高橋 洋輝	九里学園高校	3年	平田 紳次	東京都立文京直学校
	4年	高橋 龍	埼玉県立狭山緑陽高校	2年	齋藤 愛望	長野県大町岳陽高校
	4年	出仙 龍之介	福井県立鯖江高校	2年	塩野 遼太	東京都立砂川高校
	4年	松本 圭悟	開新高校			
経済経営学部	4年	WANG ZHONGLONG	外国の学校等	3年	古川 実歩	尚志高校
	4年	比嘉 清香	沖縄県立浦添高校	2年	寺田 佳純	埼玉県立大宮南高校
	3年	小名木 涉	埼玉県立所沢中央高校	2年	藤野 考樹	埼玉県立桶川西高校
メディア情報学部	4年	浅利 望綾	西武台千葉高校	3年	佐々木 雅裕	東京都立八王子拓真高校
	4年	竹村 明日香	品川女子学院高等部	2年	落合 隼汰	東京都立八王子拓真高校
	3年	青木 志央	長野日本大学高校	2年	亀川 詩織	沖縄県立浦添高校
スポーツ科学部 現代文化学部	4年	安齋 侑将	樟南高校	4年	梁瀬 珠里	埼玉県立芸術総合高校
	4年	五十嵐 玲奈	新潟県立巻高校	4年	LE QUANG ANH	外国の学校等
	4年	勝 優虎	川口市立高校	4年	渡辺 航平	東京都立片倉高校
	4年	児玉 楓夏	秋田和洋女子高校(現：秋田令和高校)	3年	作家 弥希	千葉県立流山南高校
	4年	小針 涼葉	富士市立高校	3年	田中 きよの	共愛学園高校
	4年	志賀 優晟	埼玉栄高校	3年	保坂 真央	開志国際高校
	4年	嶋田 大希	東京都立光丘高校	3年	松田 真輝	埼玉県立与野高校
	4年	杉田 諒	川口市立高校	3年	山上 大輝	東京都立蔵前工業高校
	4年	鈴木 聖菜	浜松市立高校	2年	タナカ エドゥアルド	静岡県立磐田北高校
	4年	前澤 明日香	埼玉県立朝霞西高校	2年	藤田 涼樺	聖霊女子短期大学付属高校
心理学部	4年	笠原 ゆきね	長野県岡谷東高校	3年	山本 うらら	新潟県立新潟江南高校
	4年	新保 真子	東京都立第五商業高校	2年	齋藤 寛穰	駿台甲府高校
	3年	小島 汐莉	長野県上田東高校			



学部長賞受賞コメント

法学部4年 高橋 洋輝

この度は、飯能プランニングコンテストで最優秀賞を受賞したことにより、学部長賞に認定して頂きありがとうございます。多忙な学生が多い中、時間を割いて何度も話し合いの場を設け、最後には納得のいく作品を作り上げることが出来ました。この貴重な経験を、社会に出てからも生かしていきたいと考えています。

【メンバー】高橋洋輝、清野太成、高橋龍、松本圭悟

キャリアセンターより

from the Career Center

「日商簿記検定3級」「秘書検定2級」に見事合格！

2022年度資格取得講座キャリアカレッジ「日商簿記検定3級合格講座」、
「秘書検定2級合格講座」の受講生が見事本試験に合格しました！
4名の受講生に合格の体験談を伺いました。

資格取得講座キャリアカレッジ受講生 合格者の声

秘書検定2級



試験に受かる受からないに関係なく、就職活動の自信にも繋がります！

木曜日と土曜日の週2日で計6時間の講義に加えて自主学習という内容だったため、最初は身に付くのだろうかかと不安でした。しかし、毎回復習テストが行われるため、内容が身に付いているのかを確認できました。また、間違えたところもなぜ違うのかを詳しく教えていただいたことにより、短い時間でも濃く学ぶことができ、不安は取り除かれました。そして、先生が学生一人一人を見てくださり、復習テスト返却時にはアドバイス等もいただいたのでとても有意義な時間を過ごすことができました。
堀越美羽 心理学部3年（群馬県立沼田女子高校出身）

秘書検定2級



独学では学べないことを楽しく受講できました。どのような道に進んでも将来必ず自分のためになります！

私が苦手だったのはビジネス用語の暗記です。初めて聞くようなカタカナ語や略語ばかりで、最初は心が折れかけました。でも、まずはとにかく「自分の得意分野でたくさん正解を出して楽しむこと」に専念しました。そうして自信をつけた状態で苦手分野に手を付けてみると、高いモチベーションのまま勉強に励めました。

庄司みゆ 心理学部3年（新発田中央高校出身）

秘書検定2級

1人ではなく他の受講者もいるので、独学で勉強するよりも、モチベーションを保つことができると思い受講を決めました！

ひたすら参考書を使うのではなく声に出して敬語の練習をしたり、小テストをしたり、優しく親しみやすい先生の分かりやすい解説があり、最後まで楽しく講座を受けることができました。最初は全く知識がなかったものの、講座を通して挨拶の仕方・佇まいなどの基本的なことから、メールの書き方や祝儀袋の書き方といった実用的なことまで学び身に付けることができました。

須藤凜華 経済経営学部2年（群馬県立高崎東高校出身）

日商簿記検定3級



講義が終わった後、わからないことを講師に聞くと、一緒に残って指導してくれました。頼ってよかったです！

簿記は数字があるだけで引いてしまう人もいるかもしれませんが、しかし数字よりも、仕組みを理解していれば取りやすい資格だと感じています。計算も電卓で行うため心配する必要もありません。最初に不安だった私も、講座を受講したことにより理解を深めることができました。教えてくださる講師はプロの方なので、わからなければ聞くのが1番です。ぜひこの機会に挑戦してみてください。頑張ってください！

村田帆乃佳 法学部2年（叡明高校出身）

メディアセンター より

from the Media Center

パソコン相談員の顔合わせ会を開催しました！

メディアセンター2階で働く学生スタッフ（パソコン相談員）の2022年度春学期新規メンバーの紹介を兼ねて顔合わせ会を開催しました！2020、2021年度はコロナ禍で来校が難しいこともあり開催出来ませんでした。今回は学生からの要望もあり、なんとか開催に至りました。後半はソーシャルディスタンスを保ちつつ室内で出来るレクリエーション（ワードウルフ）を行い、盛り上がりを見せていました。また、パソコン相談員達が活動の一環として楽しく学べるコンテンツを企画検討中です！近い将来作品を展示することがあるかもしれませんので、是非メディアセンターまで足を運んでみてください。



自己紹介の様子



コンテンツ紹介

長期・短期留学の派遣を再開します！

グローバル教育センターでは、2023年の春より、長期留学、短期留学(海外語学演習)の派遣を再開する予定で準備を始めています。2020年に新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により派遣を見合わせてから、実に3年ぶりの派遣となります。

今後の感染状況により、オンラインへの変更や、プログラムそのものの中止など流動的な部分もあります。一方で、着実に海外留学の門戸は開かれつつありますので、機会を待っていた皆さんは、ぜひ情報を集めて準備を進めていきましょう！

なお、長期留学と短期留学(海外語学演習)で、参加条件や学内手続きが異なります。2023年の春から留学を検討している皆さんは、以下の情報をよく確認して、選考の応募や履修登録をしてください。不明な点はグローバル教育センターにて確認してください。

✕長期留学

参加にあたっては、グローバル教育センターが実施する長期留学選考を受け、合格する必要があります。派遣期間は半年から1年です。海外の提携大学に留学します。

【派遣先】

英語圏	非英語圏	
ロンドン大学 SOAS (英国) カンタベリー・クライスト・チャーチ大学 (CCCU, 英国) カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校 (CSUEB, 米国) カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD, 米国)	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	ミュンヘン大学(ドイツ) アンジェ・カトリック大学(フランス) 聊城大学(中国) 延世大学/東西大学(韓国)

長期留学制度や提携校の概要は、グローバル教育センターホームページでも確認できます。



長期留学制度



長期留学提携校

【長期留学選考日程】

	選考日	出願期間	選考対象校	派遣開始時期
第1回	2022年10月5日(水)	配付:9/12(月)~9/22(木) 受付:9/16(金)~9/24(土)	ミュンヘン大学、延世大学、東西大学	2023年春学期
第2回	2022年11月5日(土)	配付:10/5(水)~10/21(金) 受付:10/11(火)~10/28(金)	ロンドン大学 SOAS、CCCU、CSUEB、UCSD アンジェ・カトリック大学	2023年春学期 2023年秋学期
第3回	2023年2月8日(水)	配付:1/10(火)~1/23(月) 受付:1/16(月)~1/27(金)	聊城大学、延世大学、東西大学	2023年秋学期

【応募資格】

①学費が滞滞なく納入されていること、②留学の時点で、本学に1年以上修学していること、③必要とされる語学能力が一定のレベルに達していること、④各学部の定める応募資格を満たしていること。③④の細かな要件は、グローバル教育センターで確認してください。

✕短期留学(海外語学演習)

派遣期間は3~4週間です。海外の提携大学で語学の学習をします。参加にあたっては、「海外語学演習」科目(2022年度秋学期集中、4単位)の履修登録が必要です。

【派遣先・派遣期間】プログラム期間はいずれも2023年

言語	派遣先	国・地域名	プログラム期間	担当教員
英語	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	英国	2/6(月)~2/24(金)	和田忍
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	米国	2/6(月)~3/3(金)	T.Rucynski
	フィリピン中央大学	フィリピン	2/1(水)~2/28(火)	石川真知子
ドイツ語	ウィーン大学	オーストリア	2/7(火)~2/24(金)	小林将輝
フランス語	アンジェ・カトリック大学	フランス	2/1(水)~3/3(金)	山下尚一
中国語	国立台湾師範大学	台湾	2/6(月)~2/24(金)	葉紅
韓国語	延世大学	韓国	1/27(金)~2/16(木)	朴昌明

短期留学(海外語学演習)制度や提携校の概要は、グローバル教育センターホームページでも確認できます。



海外語学演習制度



海外語学演習提携校

【履修登録(修正)期間】

秋学期の履修登録修正期間は、2022年9月28日(水)10時から9月30日(金)17時までです。

SUNDAI SPORT Information



邑木講師 世界陸上へ

2022年7月15日(金)から24日(日)の10日間、アメリカ合衆国オレゴン州ユージンにおいて、第18回世界陸上競技選手権大会が開催されました。本大会に日本代表コーチとして帯同した邑木隆二 スポーツ科学部講師・陸上競技部監督に寄稿してもらいました。

私は日本代表コーチとして帯同し、男子4×400mRヘッドコーチ、男女混合4×400mRコーチを担当いたしました。会場はオレゴン大学内にある「ヘイワード・フィールド」。選手村は大学学生寮で、食事会場は構内の学生食堂でした。

初日の男女混合4×400mRにおいては、日本歴代2位という好タイムではあったものの、組最下位という結果で予選敗退となりました。この種目は男女2名ずつで出場し、1走から順に、男子-女子-男子-女子という走順が決められた種目となります。これまでは男女2名ずつがルールであり走順は自由でした。そのためそれぞれの国による“戦略”で戦うことができた種目でしたが、今回のルール変更で、完全に“走力”で勝負する種目になり、日本チームはまだ世界との差があることを痛感させられる結果となりました。しかしながら今後の課題が明確になったことは大きな収穫でした。

大会9日目に実施された男子4×400mRにおいては、“2分台”そして“決勝進出”を目標に昨年の東京オリンピック以降、マイルチーム(4×400mRは合計距離が1600m=1マイルであることからマイルと呼ばれ



ています)として取り組んできました。その成果を発揮すべく予選に挑み、見事決勝進出を果たすことができました。タイムの達成はできなかったものの強豪国ジャマイカとの競り合いに勝ったことは非常に評価できる結果となりました。

そして最終日、決勝。予選を全体2番目の記録で通過したことで、応援して下さる多くの方々、選手たちの心の中で“メダル”という目標が生まれました。しかし、急に芽生えたメダル獲得という目標は、世界からまだまだだぞ、しっかりメダル獲得を目標に取り組んでからだと教えられ、4位という結果でした。悔しい結果ではありましたが、タイムは目標としていた2分台を達成。“決勝進出”と“2分台”の2つの目標は達成することができました。今後はメダル獲得を目標にしっかり取り組んでいきたいと思ひます。

今大会の日本チームは、メダル獲得数4、入賞数5、日本新記録4という結果でした。

競技以外で大変だったことは、コロナ感染でした。日本チームはN95マスク着用を徹底し、しっかり取り組んできたものの感染者が増加するという状況になりました。私自身も感染してしまい、リモートでのコーチングとなりました。2回以上のワクチン接種も入国条件となっていたので、なぜこれほどまでに感染者が出てしまったのか、今後の国際大会に向け、日本チームとしての取り組みを考えさせられる大会となりました。

次回の世界陸上は2023年ハンガリー・ブダペスト大会となります。さらに良い結果が残せるようしっかり取り組んでいきたいと思ひます。今後とも日本チームの応援をよろしくお願ひ致します。



スポーツ年間特待生認定式が行われました

7月26日(火)に、2022年度スポーツ年間特待生認定式が行われました。これは、スポーツ競技成績及び人物が特に優れている学生を対象に、毎年若干名が認定されます。本年度は、4名の学生が選ばれ、この日の認定式に臨みました。大森学長より認定証が手渡され、祝福の言葉をいただきました。4名の喜びのコメントを掲載します。



志賀優晟(現代文化学部4年/陸上競技部/埼玉栄高校出身)

今年度もスポーツ年間特待生に認定していただきとても嬉しく思います。昨年はコロナの影響を感じ、うまくいかないこともありましたが、その中で自分が成長するために何が必要かをもう一度考えるよい機会になりました。また、監督を始めコーチの皆さん、チームメイトに支えられていると感じることができました。残り少ない学生生活の時間を大切に、特待生としての自覚を持ち行動していきたいと思ひます。そして、駿河台大学に少しでも貢献できるように頑張ります。



小針涼葉(現代文化学部4年/陸上競技部/富士市立高校出身)

この度は、スポーツ年間特待生に認定していただき、ありがとうございます。昨年は、個人種目では納得いくような結果が出せなかったが、苦しい時期も努力を続け、チームに貢献することができたことを、認めていただき、とても嬉しいです。今シーズンも残り少ないですが、個人種目での自己ベスト更新、リレー種目での日本一という目標に向け、悔いが残らぬよう努力していきます。また最終学年としてチームに貢献をし、結果で恩返しができるよう、日々精進していきます。



橋本萌生(スポーツ科学部2年/女子ホッケー部/山形県立米沢商業高校出身)

この度、スポーツ年間特待生に認定していただきありがとうございます。昨年度は南アフリカで開催される女子ジュニアワールドカップメンバー(U21)に選出していただいたのですが、コロナの影響で日本が辞退したため出場することができず、とても残念でした。この悔しさをバネに今後も頑張っていきたいと思ひます。また、U21での活動経験を活かし自身とチームのレベルアップに繋げていきたいと思ひます。

スポーツ年間特待生としての自覚を持ち期待に応えられるよう頑張ります。



渡邊啓斗(法学部4年/男子ホッケー部/御殿場西高校出身)

この度、スポーツ年間特待生に認定していただきありがとうございます。昨年はコロナ禍で思うように練習ができない時期もありましたが、その中でも自分の技術やチーム力の向上にフォーカスして練習してきました。その結果が、今回の受賞につながり嬉しく思っています。今年度は主将としてチームを勝利に導ける選手になりたいと思ひます。チームとしては、インカレベスト4と関東学生リーグ優勝を目標にして、駿河台大学のさらなる発展に貢献できるよう一丸となり頑張ります。特待生としての自覚と責任を忘れず、期待に応えられるよう日々精進していきたいと思ひます。

